

平成31年度事業計画について
(平成31年4月1日から令和2年3月31日まで)

1 事業推進方針

平成31年度は、公益財団法人として、県民の総合的な健康づくりをより一層積極的に推進し、県民の疾病予防、健康の保持・増進に寄与する。

このため、健（検）診・検査事業における精度管理の徹底、県や市町村と連携した健（検）診受診率向上への取り組み、豊富な健診情報を元にした調査分析活動への積極的な取り組み、より効果の高い啓発活動の展開等を推進する。

2 各事業概要

(1) 健（検）診・検査事業

① 地域保健

広く県民の受診機会の拡大が図られるよう、県、市町村及び各地区の医療機関と連携を図りながら、各種健（検）診・検査を実施する。

主な健（検）診・検査

(単位；件)

項 目	31年度 計画数 (A)	30年度 見込数 (B)	増減 A-B	29年度 実施数
特定健康診査	22,950	22,950	0	23,369
特定保健指導	470	450	20	483
胸部X線検診(結核検診等)	62,200	66,200	△ 4,000	67,551
がん検診	105,540	102,630	2,910	106,833
胃がん検診	13,000	13,480	△ 480	16,235
肺がん検診	33,650	33,300	350	32,397
肺がんCT検診	13,500	13,420	80	14,511
大腸がん検診	18,140	16,200	1,940	17,919
子宮頸がん検診	11,300	11,000	300	12,335
乳がん検診	7,850	7,350	500	5,012
前立腺がん検診	8,100	7,880	220	8,424
胃がんリスク検査	2,200	2,220	△ 20	3,142
腹部超音波検診	1,040	860	180	812
骨粗鬆症検診	2,050	1,950	100	1,511
合 計	196,450	197,260	△ 810	203,701

② 職域保健

職場での健康診断と併せて、その事後措置としての保健指導や運動指導等を実施することにより、勤労者の健康増進に取り組む。

主な健（検）診・検査

(単位；件)

項 目	31年度 計画数 (A)	30年度 見込数 (B)	増減 A-B	29年度 実施数
特定健康診査	550	550	0	551
特定保健指導	650	600	50	750
胸部 X 線検診 (結核検診等)	59,800	59,300	500	59,678
一般健康診断 (協会けんぽ含む)	60,000	59,260	740	59,161
特殊健康診断	3,520	3,500	20	4,382
指導勧奨による健康診断	1,920	1,920	0	1,852
がん検診	29,110	29,180	△ 70	28,985
胃がん検診	11,000	11,000	0	10,953
肺がん検診	350	350	0	357
肺がん C T 検診	800	880	△ 80	1,407
大腸がん検診	10,360	10,350	10	9,994
子宮頸がん検診	2,800	2,800	0	2,588
乳がん検診	1,900	1,900	0	1,885
前立腺がん検診	1,900	1,900	0	1,801
胃がんリスク検査	300	100	200	2
腹部超音波検診	1,600	1,600	0	1,535
骨粗鬆症検診	450	450	0	503
合 計	157,900	156,460	1,440	157,399

- ・一般健康診断 (雇入時・定期・特定業務従事者・給食従事者の検便)
- ・特殊健康診断 (じん肺・石綿・有機溶剤・鉛・特定化学物質・電離放射線等)
- ・指導勧奨による特殊健康診断 (VDT作業・振動業務等)

③ 学校保健

学校保健安全法に基づく結核検診、尿検査、心臓検診に加え、小児生活習慣病予防健診、脊柱側彎症検診などの各種健（検）診・検査事業を実施し、児童、生徒の健全な育成、疾病の早期発見や予防に資する。

(単位；件)

項 目	31年度 計画数 (A)	30年度 見込数 (B)	増減 A-B	29年度 実施数
結核検診	12,000	12,524	△ 524	13,112
寄生虫卵検査	9,000	9,482	△ 482	12,529
尿検査(腎臓病、糖尿病検査)	108,700	109,275	△ 575	109,168
心臓病検診	8,000	8,283	△ 283	8,505
脊柱側彎症検診	11,000	11,111	△ 111	11,182
学校貧血検査	19,300	19,744	△ 444	20,130
小児生活習慣病予防健診	2,600	2,813	△ 213	3,075
合 計	170,600	173,232	△ 2,632	177,701

④ 母子保健

新生児マススクリーニング検査において、新生児の先天性代謝異常や内分泌異常の早期発見・早期治療の一層の充実を図る。

(単位；件)

項 目	31年度 計画数 (A)	30年度 見込数 (B)	増減 A-B	29年度 実施数
先天性代謝異常等検査	9,500	9,920	△ 420	10,627

⑤ 人間ドック

生活習慣病の予防及び疾病の早期発見を目的に、協会の施設や機能を生かした検査内容やコースの設定等、受診者にとって利便性の高い人間ドックの充実を図る。

(単位；件)

項 目	31年度 計画数 (A)	30年度 見込数 (B)	増減 A-B	29年度 実施数
人間ドック	1,000	950	50	930

(2) 精度管理の強化

① 各種委員会の設置、運営

協会が実施する健康診断、各種検査、保健指導等の各種業務について、その精度を維持・向上を目的とし、健(検)診精度管理委員会及び各種専門委員会を定期的を開催する。

各種専門委員会(9部門)

生活習慣病、結核・肺がん、肺がんCT、乳がん、新生児マススクリーニング、消化器がん、子宮がん、超音波検査、小児保健

② 職員の資質向上

人間ドック学会、日本消化器検診学会、日本医師会、県医師会、日本対がん協会等の上部組織が行う精度管理事業に積極的に参加する。

また、各種技術研修会等へ積極的に職員を派遣し、関係職員の更なる技術向上に努めるとともに、事業を実施していく上で特に必要の高い「胃がん検診専門技師」、「細胞検査士」などの認定資格等の取得を目指す。

(3) 健康づくり支援

健康寿命の延伸や健康格差の縮小には、本県の健康事情を把握し、生活習慣病の発症予防の徹底を図ることが重要であるため、循環器疾患、がん、糖尿病の予防を中心として、健康づくりの支援を展開する。(一部県委託事業)

① 健診データ解析情報及び健康情報の発信

協会が実施した健診データを解析し、これらの情報を保健所、市町村、職場、学校等にフィードバックすることにより、それぞれの団体の健康課題を明確にするとともに、各団体が取り組む健康づくりを講演やセミナー等を通して支援していく。

支援方法	平成31年度計画	平成30年度見込	
講師派遣による健康講話等	5,500人(100回)	5,000人(90回)	※
情報紙(サンテ宮崎)	16,000部(年4回)	16,000部(年4回)	
健康づくりセミナー	100人	157人	

※ 実施者：医師・保健師・管理栄養士・健康運動指導士

内容：「糖尿病予防」について
 「小児生活習慣病予防」について
 「生活習慣病予防」について
 「がんに関する教育」について
 「簡単にできる運動・肩こり・腰痛予防改善、親子で楽しむ運動」について
 「野菜摂取向上など食生活」について

② 保健指導の充実及び研修会、教室等の開催

生活習慣病発症予防を目的とした特定保健指導をはじめとする健診後の指導を展開し、個々の生活習慣の改善に繋げていく。また、保健指導実施者の育成のための研修会等を実施する。

内 容		平成31年度(計画)	平成30年度(見込)
特定	動機付け支援	580人	530人
	動機付け支援相当	20人	20人
	積極的支援	520人	500人
一般保健指導		100人	80人
指導者育成研修会等		300人(4回)	285人(4回)

③ がん検診の事後管理

がん検診の要精密者について、精密検査の受診勧奨を市町村と連携し行い、がんの早期発見・早期治療に努める。

また、生活習慣病検診管理協議会がん部会（県委託事業）に関する事業の取りまとめを行う。

平成29年度協会実施のがん検診の事後管理の状況（単位：人、％）

	胃がん	肺がん	肺CT	大腸がん	乳がん	子宮頸がん
要精検者数	1,421	210	1,216	1,736	392	261
要精検率	5.2	0.6	7.6	6.2	5.7	1.8
精検受診者数	1,186	181	1,099	1,214	362	225
精検受診率	83.5	86.2	90.4	69.9	92.4	86.2
発見がん数	28	19	41	35	23	9
がん発見率	0.10	0.06	0.26	0.13	0.33	0.06

※平成31年2月8日現在の状況

<参考>日本対がん協会まとめ全国平均（平成28年度）（単位：％）

	胃がん	肺がん	肺CT	大腸がん	乳がん	子宮頸がん
要精検率	6.6	2.0	3.7	6.1	4.7	1.4
精検受診率	79.9	79.5	84.1	69.1	90.1	83.8
がん発見率	0.12	0.05	0.18	0.15	0.24	0.01

（４）普及啓発等

県民が主体的に検診を受診し、生活習慣を改善するなどの積極的な行動を実践するよう、県民に対する啓発活動に取り組む。

① 健康情報の発信

- ・協会ホームページの内容を充実し、幅広い層への広報を強化する。
- ・広報誌「サンテ宮崎」（年４回；各４千部）の内容をさらに充実し、健康情報の提供に努める。
- ・テレビ等による情報発信（健康情報番組協力）

② 講演会や研修会等の開催

- ・県民向けの健康講演会や健診体験イベントの開催
- ・市町村、職域、学校の健康管理担当者向けの研修会の開催

③ 他団体との連携による啓発

市町村等の他団体が行う健康関連行事と連携して、啓発ブースの設置や検診車の見学会等を行い、健診に関する理解を深める啓発を行う。

④ 上部団体（(公財)結核予防会、(公財)日本対がん協会）と連携した広報啓発

- ・結核予防週間（9月下旬）及び複十字シール運動（8月～12月）

結核や胸部の疾患の予防、早期発見・早期治療を訴える街頭キャンペーン等を事業パートナーである宮崎県健康増進婦人の会と協力して、実施する。

また、キャンペーンと併せて、結核等の予防啓発事業等に活用するための複十字シール募金活動を行う。

（募金目標額 2,200千円；平成30年度見込 1,600千円）

- ・がん征圧月間（9月）

県民向けの体験型の健康フェアの実施、テレビや新聞等での広報等

⑤ ピンクリボン活動の展開

関係機関との連携のもと、国及び県が推進する乳がん撲滅運動であるピンクリボン活動を積極的に展開し、乳がん検診の受診、早期発見、早期治療の必要性について普及啓発を図る。

- ・ピンクリボン活動みやざき実行委員会の運営
- ・患者会（New ピンクリボンの会）の開催（月1回）
- ・スポーツイベントでの出展PR等